

議 会 広 報 広 聴 委 員 会 記 録

令和4年6月9日（木）
13時29分～14時34分
全 員 協 議 会 室

【出席者】 三浦委員長、村武副委員長、
肥後委員、村木委員、大谷委員、沖田委員、川上委員、小川委員、
上野委員、川神委員

【議長団】 笹田議長

【事務局】 河上局長、小寺書記

議題

- 1 はまだ議会だよりVol. 66について……………資料1
 - (1) ページレイアウト
 - (2) 掲載記事及び原稿提出締切
 - (3) その他

- 2 はまだ議会だよりminiについて……………資料2
 - (1) 第14号掲載内容及び原稿担当
 - (2) その他

- 3 読者アンケートに寄せられた意見の振り分けについて……………資料3
 - (1) Vol. 65で寄せられた意見と振り分け先の確認
 - (2) その他

- 4 主権者教育の推進について……………資料4
 - (1) 浜田高校HIRAKU PBL報告
 - (2) 島根県立大学との共同研究
 - (3) その他

- 5 その他

【次回委員会開催予定日】 令和4年6月22日（水） 本会議終了後 全員協議会室

【議事の経過】

[13時 29分 開議]

三浦委員長

議会広報広聴委員会を始めたい。出席委員は10名で定足数に達している。本日はその他含め五つの議題を用意している。早速レジュメに沿って進める。

1. はまだ議会だよりVol. 66について

(1) ページレイアウト

(2) 掲載記事及び原稿提出締切

三浦委員長

小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

紙面全体のレイアウト等について皆からご意見があれば何う。

(「なし」という声あり)

こういった形の項目で進めたいが、幾つか個別に相談したい。議会ニュースのまるよみだが、県立大学生の議場見学が予定されているので主権者教育に絡めて触れようと思うが、よろしいか。

(「異議なし」という声あり)

ではこういう形で取り上げたい。次に市民対談だが、取材先を決定したい。皆から提案があれば伺いたい。

ないようならこちらから提案してみたい。先般、市内の一斉防災訓練があった。地域の自主防災組織等で活動されている方々がおられる。防災の視点を取り上げる議員も結構おられるし、防災意識を高めていこうという切り口を持ちながら、地域で防災活動をされている方をピックアップして取材してはどうかと考えた。

もう一つは、地域公共交通の話も昨今は結構出るので、自治会輸送の取り組みをされている団体・地域に取材対象としてご協力いただくのはどうかと思っている。

この2点についてのご意見でも結構だし、改めて提案があれば伺いたいがいかがだろうか。

川神委員

両方とも切り口としては的確でよろしいと思う。いずれにしてもやっていかなければいけない問題だが、6月5日の防災訓練、並びに7月は浜田市が大変な被害を受けた時期にも入るので、防災のほうがりタイムリーかと思う。

こういった視点で誰と話をするかだが、防災組織ができて積極的にやっている市内の自治会からどう選ぶか。併せて消防団の問題があるが、消防団離れがある中で防災にかかわっているところの切り口もあるかと思う。

いずれにせよ防災という切り口で、現場で意識を持って活躍している方の生の声を拾い上げるのは有意義だろう。

三浦委員長

ほかにはいかがか。

川上委員

時期的にもよい時期なので、多様な面からその点に切り込んでいくのはよいと思う。ぜひお願いしたい。

三浦委員長

ほかに。ないようであれば2人の委員からご賛同もいただいたので、防災をテーマに取材記事をつくってみるということで進めさせていただきたい。

こういった方を取材対象にするかだが、消防団、あるいは地域自主防災組織で活動されている方もある。ほかに具体的な名前でも結構なので候補を挙げていただければ参考にしたい。

川神委員

取材対象の上限人数はどのくらいか。例えば消防団に最近入った若手から選ぶなど、ジャンルを決めてその枠から数名とするのがよいかと思うが。

三浦委員長

以前、地域おこし協力隊の方を取材したときには4名だった。そのインタビュー自体はよかったのだが紙面が限られるので、なかなか書ききれない部分もあった。しっかりインタビューしてこちらの視点も踏まえて紙面をつくらうとすると、あまり人数は多くないほうがよいかとは思う。とはいえ1人でないといけないわけではない。例えば消防団から1人、地域自主防災組織から1人など、多角的に捉えてみる紙面にしてもよいと思うし、もちろん絞ってもよいと思う。

川神委員

切り口が自主防災と消防団ということなので、例えばエリアは別にして最近入った若手の男性、もう1人は女性で何年もやっている方、そういうバランス。自主防災はかなり前から取り組んでいるエリアもあるので、そういうところから1名と、最近つくられたところに入ったばかりの方を1名など、その辺を網羅するようなバランスを取るようなやり方も一つかとは思う。

三浦委員長

貴重なご意見だと思うので、少し踏まえて検討したい。

大谷委員

紙面が2ページしかない。その制約を考えると4名は多い。写真

も入れると3名くらいがよろしいかと思いつつも絞り切れなければ4名までかと。そういう感覚でどうか。

三浦委員長

例えばだが、消防団については団員の検証など、消防団内でも現在見直しされている。もちろん防災の観点で消防団の方に話を聞くのもありだとは思いますが、消防団は消防団でしっかり取材してもよいかと思う。紙面の関係で、地域自主防災組織に古くから取り組んでいるところ、また最近そういう意識を強く持って新しく組織したところという文脈で、地域自主防災組織の方々を、防災訓練が開催されたことと絡めて今回取材してみるのはいかがでしょうか。

川神委員

結構だと思う。無理やり二つを一つの紙面に落とし込むのはスペース的に無理だとか中途半端になるというならそういう形で。今回は自主防災組織で活躍している方から2、3名。1人は女性がよいと思っている。

三浦委員長

皆はどうだろうか。

村木委員

情報提供だが、消防団で防災士という資格を持っている組織が浜田にある。消防団であり、かつ防災士で自主防災組織にかかわっている方が25名いて、特に女性が多いというのもある。今後人選などするなら自分から推選できる人もいる。

三浦委員長

では人選については村木委員にご協力いただき、こちらで相談しながら決めてもよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

ではご一任いただいたということで。村木委員に助力いただき協議させていただきたい。

村木委員

はい。

三浦委員長

では市民対談については自主防災組織を中心に、防災の必要性をテーマに議会視点を持って取材してみたい。

次のページから3ページにわたり、委員会活動レポートを取っている。委員会でいろいろ動きがあると思うので、この部分はぜひ各委員会で現状を伝えていただきたい。ご理解いただけるか。

(「異議なし」という声あり)

読者アンケートだが、今回は先ほど説明があったように6件返答予定である。今まで毎号の一番裏面に付けていたが、読者アンケートを1ページにまとめさせてもらったほうが読者にもわかりやすいかと思った。今回はまだ市民一日議会（以下、市民一日議

会)の開催告知をどこかに入れたいと考えたときに、こうしたレイアウトのほうがすっきりするかと思ったので、このようにさせていただきたい。

レイアウトについてはこのような形で進めたい。続いて編集の役割分担を決めたい。小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

我こそはこれを担当したいというものがあれば希望を伺う。

川上委員

委員会活動レポートはつくらせていただくとして、トピックスも携わってよいかと考えている。

三浦委員長

ではトピックス一つを川上委員にお願いします。ほかの方はいかがか。ちなみに市民対談の取材にまだ行ったことがない方はおられるか。今回のテーマで行きたい方がおられれば。

では沖田委員と川神委員に。人選については村木委員にご協力いただくということで。ほかの方はいかがか。

大谷委員

委員会レポートをやる。

三浦委員長

では総務文教委員会のレポートは大谷委員、産業建設委員会は川上委員。福祉環境委員会のレポートは。議会広報広聴委員会の委員でなくても、ほかの福祉環境委員に書いていただくようお願いしてもらっても構わない。

《村木委員挙手》

はい。もう一つのトピックスは。では上野委員にお願いします。まるよみは主権者教育のことを初めて書くので私が担当する。議会運営委員会、議会改革推進特別委員会、協働のまちづくり推進特別委員会の委員会活動レポートはどうだろうか。

小川委員

議会改革推進特別委員会は私が。

肥後委員

議会運営委員会を私が。

三浦委員長

これで大体決まった。市民一日議会の告知も簡単な案内程度になるかと思うので、事務局と相談し正副委員長で担当させていただく。ではトピックスは川上委員と上野委員、まるよみは私、市民対談は沖田委員と川神委員、委員会活動レポートは総務文教委員会が大谷委員、産業建設委員会が川上委員、福祉環境委員会が村木委員、議会運営委員会が肥後委員、議会改革推進特別委員会が小川委員、協働のまちづくり推進特別委員会が村武副委員長、市民一日議会の告知は正副委員長と事務局で作成させていただく。

皆ご協力をよろしく願います。

小寺書記
三浦委員長

原稿提出等のスケジュールについて事務局から補足はあるか。

(以下、資料をもとに説明)

7月22日に委員会を9時から開催したいが、よろしいか。

(「異議なし」という声あり)

では調整をよろしく願います。読者アンケートの設問についてご相談したい。皆から質問について提案はあるか。前号はどういう設問だったか。

小寺書記
三浦委員長

気になった記事はどれかという形である。

特段なければそういった形でよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

では今回もそれでいきたい。

(3) その他
三浦委員長

ほかに65号について何かあるか。

(「なし」という声あり)

2 はまだ議会だよりminiについて

(1) 第14号掲載内容及び原稿担当

三浦委員長
小寺書記
三浦委員長

小寺書記から説明をお願いします。

(以下、資料をもとに説明)

では掲載項目を二つ程度決めたい。皆から提案はあるか。タイムリーに情報を出していこうというのがminiのコンセプトの一つなので、直近のニュースで伝えたいことをピックアップするのがよいと思うが。

川上委員

7月23日は58年災の日である。7月になったらそれを思い出す必要があるということで、58年災の記録を少し出したほうがよい。

三浦委員長

ほかに意見はないか。今の川上委員の提案に異論がなければ一つはこれで。川上委員に書いていただけるか。

川上委員

はい。

三浦委員長

よろしく願います。もう一つはどうか。締め切りは。

小寺書記

大体6月20日前後だと思っていただければ。

三浦委員長

参考にしていただきたい。いかがだろうか。

川上委員

海開きが近いはずなので、注意喚起も兼ねて触れたらどうか。

沖田委員 海開きはコロナの関係で祭典のみでここ2年は千畳苑でやっている。今年どうなるかは未定。たまたま昨日、国府小学校の5年生が地元の定置網の見学に出かけた。海がテーマということで。

三浦委員長 基本的には議会の動きを記事にしたほうがよいと思う。災害を振り返りながら防災メッセージを投げかけるようなところはあってもよいと思うが、議会は今こういう動きがあるという色が出たほうが記事としてはよろしいかと思う。

まちづくりセンターへのヒアリングがちょうど終わったタイミングなので、全域を回った報告と、これからも声を拾って議会の中でどう取り扱っていくかという速報でもよいのではと思うが、どうだろうか。異論がなければヒアリングに行った方の中から立候補いただくとうれしいが。

上野委員 ヒアリングした内容を取りまとめている最中である。今表に出したらまずいものもあるかもしれない。つくってみたい。

三浦委員長 では上野委員に書いていただく。これからヒアリング内容をどう扱うか、委員会の進捗があると思うので、そこを細かく書かなくても、今委員会でこう動いているということで結構かと思う。

あとは議員のつぶやきだが、皆どうか。

村武副委員長 議員のつぶやきで先ほど沖田委員が言われた定置網の見学を載せたらどうか。

三浦委員長 どうだろうか。

(「異議なし」という声あり)

では今回は沖田委員にその件を書いていただく。

(2) その他

三浦委員長 m i n i についてその他あるか。

(「なし」という声あり)

3 読者アンケートに寄せられた意見の振り分けについて

(1) Vol. 65で寄せられた意見と振り分け先の確認

三浦委員長 小寺書記から説明はあるか。

(以下、資料をもとに説明)

小寺書記

三浦委員長 振り分け先についてはよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

小寺書記

では記載のとおり振り分けて、対応をお願いします。前回のアンケートQ1、注目した記事をそれぞれ書いていただいている。偏りなく関心を持って読んでいただいたようだが、こうした点も参考に今後もよりよい紙面づくりに皆と向き合っていきたい。参考のためお目通しをよろしくをお願いします。以上でよろしいか。

各委員会に文書で振り分けを通知する。今後の流れは、6月15日の定例会議初日の委員会で、委員にご意見を確認いただき、定例会議期間中に対応を協議いただくようお願いする予定である。

(2) その他

三浦委員長

ほかに。

(「なし」という声あり)

4 主権者教育の推進について

(1) 浜田高校HIRAKU PBL報告

三浦委員長

昨日、大谷委員、川上委員、私の3人で浜田高校PBLの授業に参加し、議会活動や議員の仕事について彼らに情報提供した。参加生徒は普通科の2年生で、160名程度だったと思う。3回に分けておおむね5人ずつ来て、議会活動や仕組みを簡単に説明しながら、我々がどういう経緯で議員になったのか含めて簡単に自己紹介し、あとは生徒から質問を受ける形でセッションを行った。

対応としては、これから授業の中で生徒たちが研究テーマを決めていくとのことなので、できるだけ生徒の質問に答える時間を多く取ろうということで対応した。

質問は、議員のやりがいをどういうときに感じるか、議員になぜ若者が少ないのか、まちの課題は何か、など多岐にわたっていた。真剣にメモを取る姿が印象的だった。今後その報告を受ける形になると思う。大谷委員、川上委員、せっかくなので感想をいただけるとうれしい。

川上委員

幸いに子どもたちは非常に素直な受けとめ方をしてくれた気がする。ただ、議会についての予備知識があまりないので、議会というものを子どもたちに説明してあげる必要がある。特にはまだ議会だよりを見たことがない子もいた。議会だよりをもとにして、子どもたちに議会の仕組み、または議会が何をしているか、しっ

かり伝える必要があると感じた。

議会に求めるもの、浜田市の課題は何かという質問があり、私は人口減少だ、ただし子どもたちに必ず浜田に残ってくれというのではなく、外でしっかり浜田の子として働いていただき、浜田からこういう子が生まれるなら浜田へ行ってみようかというような流れができればよいと言った。

大谷委員

浜田市議会として一つのブースで対応した。時間内に三つのブースを回って状況を聞いた中から、探究活動として一つのテーマを設定し、18時間の授業でその課題について研究成果をまとめてみるという設定だったと思う。

一つの班につき25分の設定で、議会とは何をするのかというレベルの話からスタートするので、今後自分たちの班の研究テーマ設定はどうしようかと盛り上がってきたところで25分が終わったような気がしている。あと5分あれば伝えられた気がする。最後の5分が結構大事なので、残念だったという思いが強いが、ただ生徒のほうは真摯な気持ちで受けとめようとしてくれていたので、今後どういう成果が出るのか楽しみにしたい。班によってはテーマを絞り切れないところもあるかと思うので、もし決まりにくかったらこういうテーマをやってみるとよいかもかもしれない、といった投げかけもあってもよいかと個人的に思う。

三浦委員長

限られた時間で伝えたいことが伝え切れたかということ、我々だけでなくほかの参加者からも同様の感想を耳にした。

はまだ議会だよりを見たことあるかという質問に対しては、ちらっと手が挙がった程度で、議会活動を目にしたり耳にしたりする機会は大変少ない印象だった。高校3年生になれば有権者にもなる。そうしたところに議会の仕組み、動きなどを情報発信していく必要性は、昨日のイベントを通して改めて感じた。特に当委員会においてはそういった点も改めて意識しながら、広報活動の充実、若者も意識しながらやっていく必要があると感じた。

川上委員

皆から何か質問や感想をお持ちなら伺う。

昨日受講した子どもたちの中に、自然エネルギーに関すること、石見ケーブルテレビのアナウンサーに接触する子どもがたくさんいる。子どもたちは世間一般の問題点または自分たちがクリエイティブになれることに対して興味を持っているのだと感じた。

大谷委員

15日から定例会議が始まる。個人一般質問でケーブルテレビにも出るから見てよとアナウンスはしておいた。あと、生徒もだが、指導する先生に対して何らかの機会に議会活動を伝えられると、間接的に生徒にも伝わり、主権者教育につながるような気がする。

三浦委員長

昨日は浜田高校だったが、浜田のコンソーシアムは水産高校や商業高校等も含めてつくられているので、ほかの学校からも類似イベントをやりたいという声が上がっていると耳にしている。また機会があれば、議会としても当委員会としても積極的に出ていき、学校や生徒との接点づくりができるよう努めていきたい。またご協力をよろしく願います。

(2) 島根県立大学との共同研究

三浦委員長

先般、どういった内容で今後進めるのかと小川委員からご指摘いただいた。今配信された資料は、こういったテーマで一緒に研究していきたいという要望を出した際の提案書になる。目的、期待する効果、背景等が書かれている。具体的にどういった視点を持ってどういった方向で研究を進めていくかは大学の先生たちに委ねる部分も大きいですが、まずこちらからこういう内容で大学に伝えていただいた。

資料がもう一つある。その提案書に対して県立大学の光延先生から共同研究授業の申請書として、こういった方法で研究を進めていってはどうかというものが出された。これをもとに執行部で、どういった研究事業を採用するか審議され、採用されたといった流れである。したがって、ここで光延先生の提案書の7、総事業費51万5千円の経費を計上していただいているが、担当課での審査の中で予算獲得が70%くらい、35万円程度の事業費が決定された。予算減額になっているのでこの研究項目全て対応いただくのは難しい。どういう方法でどの点について今回取り組むかは、光延先生の申請書をもとに当委員会で議論し、研究に着手していく。我々も協力できるところはしていく形になるかと思う。その機会が、近々光延先生をお招きする会に当たると考えており、これまでの経緯を皆にいま一度説明する。

小川委員を初め、皆から再度ご質問があれば伺いたい。まだ具体的なことは決まってないので、光延先生が来られたときにぜひ

皆から意見を言っていただき、それを踏まえて研究の詳細を組み立てていただく形がよいかと思っている。

小川委員

経過や段階については大変理解できた。光延先生と意見交換をするに当たり、議会広報広聴委員会としてどの部分まで担当するのか。委員はどのような形でかわれるのか。進め方までは議会広報広聴委員会の役割で、そこから先は全議員対象で進むのか。

三浦委員長

もちろん議会全体で主権者教育の課題に対して取り組みを進めていければベストだと思う。できるだけ議会全体の動きになるよう当委員会からも働きかけたり、議長団にも相談したりしたいと思うが、先般議長からも主権者教育については議会広報広聴委員会で一旦担ってほしいという要請があったので、今回の共同研究事業を進めていく所管委員会としては我々がいて、必要に応じて議会全体で動くべきところを全議員に協力を仰ぐものは光延先生とお話ししながら、皆にしかるべき形で相談していきたい。窓口としては当委員会が動く形になる。ほかにはないか。

(「なし」という声あり)

では日程調整等は事務局と正副委員長とで進めて、皆にご案内させていただきます。

(3) その他

三浦委員長

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

5 その他

三浦委員長

小寺書記

皆から何かあるか。

皆からなければ次の委員会の開催日程について。編集に係る委員会は7月22日でお願いしたいが、その前に1回挟めればと思っており、それを6月22日水曜日の議案質疑が終わったタイミングでと考えている。議題としては、市民一日議会のことをV o 1 . 66に掲載する予定なので、昨年の実施を振り返りながら協議できればと思っている。また、前回、前々回の委員会であったSNS関係の話を進められたらと思っている。皆のご都合はいかがか。

三浦委員長

定例会議中だが、少し皆にお時間を取っていただき委員会を開催できればと思っているがいかがか。

川上委員

委員会として議案質疑が終わり次第、午前中だろうと午後であろうと、ということか。了解した。

三浦委員長

では調整のほどよろしく願います。その他あるか。

村武副委員長

視察をやってもよいことになったので、今すぐでなくても今後どのようにしていくかを、また皆と検討できればと思う。

三浦委員長

実際に訪問する視察もある程度緩和されたし、オンラインでできるなら引き続きそれでも構わない。今取り組んでいる主権者教育のこと、あるいは議会だよりの編集や情報発信、広聴活動、さまざま我々も考えながら動いている。よい先進地域、先進的な取り組みをされている方々がおられたら、ぜひ勉強するべきと思う。候補があればぜひ提案していただきたい。随時受け付ける。

以上で議会広報広聴委員会を終了する。

[14時 34分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦 大紀